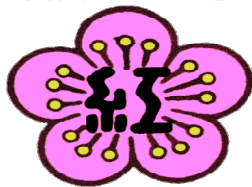


創立明治7年
開校147周年

令和3年度 紅梅小だより

赤塚っ子学びのエリア



紅梅



冬休み号

令和3年12月24日
板橋区立紅梅小学校
校長 小宮孝之

〇たぐまい子 〇よく考える子 〇思いやりのある子

ほめ、みとめ、ふれあう冬休みに 心新たに新しい年をお迎えください

校長 小宮 孝之

「挨拶ができない。自分からはおろか、大人の挨拶に返すこともできない」。そういう印象だったことが嘘のように、紅梅小の子たちは自分から、明るく、元気よく、挨拶をする子になっていました。子供たちの笑顔を見るにつけ、感無量の思いに包まれます。子ども会の皆様のご尽力で、先日は6年生を対象として、餅つき、鏡餅作り体験会が行われました。地域の多くの方のおかげでこうした体験ができたということ、6年生はきちんと理解していたのでしょうか。体験が終わり、返る道々、たくさんの子が「有り難うございました」と、お世話になった方の姿を見つけては、お礼を言っていました。その様子はとても自然で、まさに「自分の内から出てきた言葉」でした。「生きて働く言葉」、というのはこういうものなのだ、と感じずにはおれませんでした。

学校生活は「明るく登校、楽しく下校」が基本です。「挨拶の徳丸」を実現する紅梅小でありたい、その願いが叶いつつあるという手応えを感じながら、2学期を終えることができました。挨拶のある生活を作ってください。保護者や地域の皆様、精一杯子供たちの教育に当たった本校の教職員の努力の結晶だと思います。「紅梅の子は紅梅で育てる」という願いがこうして子供の事実となって皆で確かめ合える。これほど嬉しいことはありません。

今年の学校行事、地域の行事はまた、多くが中止、縮小となりました。苦渋の決断をしなければならなかったことも一度や二度ではありませんでした。それでも、何とか子供たちの笑顔を守りたい、とご支援を頂きました皆様に、改めて感謝を申し上げます。

本日子供たちに「あゆみ（通知表）」を渡しました。赤塚っ子学びのエリア（赤三中、赤塚小、下赤小、赤新小、紅梅小）では、昨年度より2学期の所見欄を個人面談で直接お話しする形にさせて頂きました。（総合的な学習の時間、外国語活動については所見としての評価を記入しています。）是非、ご家族で一緒にお読みになり、個人面談での話題と共に、お子さまの努力や成長などをうんと褒めていただきたいと思えます。まだ結果としては現れてきていないことも、子供たちが目標をもって努力してきたのであれば、とても素晴らしいことです。そこを評価してあげてほしいと思えます。おうちの方からの賞賛とねぎらいは、子供たちの自信を生み、必ずこれからの学校生活に役立っていきます。自分を認められる子は課題を正面から受け止め、前向きに捉え、前進していくことができるのです。

先生方はいつも子供たちを褒めてきました。褒められるということは、承認されるということです。大事にされるということです。そのことで子供は「自分は自分でよいのだ」という安心感を得ます。一方、先生は自分が間違えたときには「ごめんなさい」と言います。間違えることが当たり前だ、謝っている人の過ちは責めてはいけないうのだ、という考え方が育ちます。このような環境があってこそ、人間らしい人間が育つのだと考えています。

さて、明日からは冬休みです。1年間の自分の成長を振り返るとともに、新しい年への希望や目標をもつ絶好の機会です。年末・年始のこの時期は、普段なかなかできないことを親子で一緒に取り組んだり、家族団らん、或いはオンラインなどを使って親戚の方と共に過ごしたりできる時でもあります。ぜひ交流やつながりを深める機会として有意義に活用してください。

1 ふれあいを深めましょう

- ◎家族での会話の機会や一緒に過ごす時間をつくって1年間を振り返り、新しい年への希望や目標をもてるように、助言をお願いします。
- ◎お手伝いをさせてください。家族の一員として家事を分担したり、任されたりすることで、自覚が高まります。
- ◎年末・年始に訪問や来客があったときには自分から挨拶をさせ、礼儀等を身に付ける機会としてください。

2 健康に過ごしましょう

- ◎命の大切さを考える機会にしましょう。生活や言動に表れるサインに気付き、子供心の変化を読み取って助言や励ましをお願いします。
- ◎早寝、早起きを続けましょう。特に冬休み後半には、学校生活のペースを作れるよう、規則正しい生活をさせてください。
- ◎寒さに負けず外にも出るようにさせてください。外から帰ったら、必ずうがいと手洗いをさせましょう。

3 安全に過ごしましょう

- ◎まずは危険な場所に行かないことです。被害にあってしまった時は、すぐに警察へ電話をし、その後、学校に報告をしてください。危険なことに会ってしまった時の対処の仕方（防犯ブザーを鳴らす、大きな声で助けを求め、近くの家に逃げ込むなど）、について必ず話し合ってください。
- ◎年末・年始の気ぜわしい時期です。道路の正しい横断の仕方や飛び出しに対する注意はいつも以上に慎重にさせてください。自転車の点検と安全な乗り方について、ご家庭でも繰り返しご指導ください。
- ◎遊びに行くときは、誰とどこへ行って何時に帰るかを確認してください。また、防犯ブザーが正しく作動するか、点検をお願いします。
- ◎インターネットを巡る犯罪は深刻になっています。SNS、LINE、YouTubeなど、子供が安易に入っていけるツールこそ、被害の温床になります。ゲーム機でもネットにつながるものには同様の危険があります。

今学期も様々な形でのご協力、応援や励ましをいただきました。心より感謝申し上げます。3学期の子供たちのさらなる飛躍と成長とにご期待ください。

皆様、どうぞよいお年をお迎えください。

紅梅小学校長 小宮 孝之